

2/15

2018年第1290号

(毎月5、15、25日発行)

協会敬 大阪府歯科保険医協  
会誌 市浪速区幸町1-2-33  
大発 大阪電話(06)6568-7731(代  
表) http://osk-net.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可

# 戦争しない未来のために

協会は9条の改変を許さず、憲法を活かした政治の実現を求める請願署名に取り組み。同署名は、機関紙2月25日号に同封する。小澤理事長が協力を呼びかけている。

澤長 署名協力呼びかけ  
小澤理事長



いま、憲法9条を変えようという動きが急速に強まっています。安倍首相は、憲法9条に自衛隊を明記するなどの改憲を施行し、2020年までに施行すると公言しています。年内の国会で改憲を決議し、19年3月までに国民投票の実現を目指す考えです。

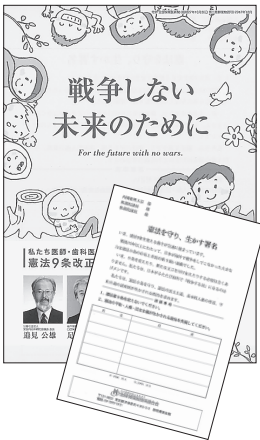
自衛隊は1954年の発足以降、様々な国際緊張のもと、専守防衛の努力組織として、また多くの困難な災害救助などにより、多くの国民に歓迎されてきました。しかし、国民が支持する自衛隊が大きく変えられようとしています。

契機となったのが、2

015年に成立した安保関連法です。違憲とされ、使が認められ、日本は海外で戦える自衛隊であり、国民が支持する自衛隊とは全く異なる組織です。それは同時に平和国家としての日本の国の姿も変貌させることを意味

「いのちと健康を守る歯科医師として、非戦の精神を投げ捨てるわけにはいきません。歯科医療の礎は平和です。いのちと健康の最大の脅威である戦争へと向かうあらゆる流れに反対しましょう。協会は、9条を守り、憲法を生かした政治の実現を求め、憲法を守り、生かす」請願署名に取り組みます。一人ひとりの声を結集し、憲法の定めるこの国の在り方―基本的人権の尊重、民主主義、平和主義の諸原則―が生かされる政治の実現を求めます。署名へのご協力をお願い致します。

### 次号署名同封



### いま言いたい 診療報酬改定

#### 義歯

大手新聞社各紙は、昨年の医療経済実態調査を取り上げて、歯科診療所の利益率は拡大し、医院の経営は堅調であると報道した。私は、この国の話なのかと耳を疑う

特に、義歯は不採算性が高い項目のひとつだ。ハンドメイドかつオーダーメイドでこんなに安いものは、他の市場ではありえない。これは厚生労働省も認める純然たる事実である。

なぜ手間のかかるコンラップより安いのか、義歯調整の評価はなぜこんなにも低いのか、なぜC/D/CAMのようなメーカー主導の技術が我われに何の相談もなく高点数で入ってくるのか、補管で不可抗力の責任まで取れようのか。

言うまでもなく歯冠修復・義歯は、人間が日々生活する上で不可欠のものを十分に回復させる高度の技術である。これらの技術を正当に評価してこそ、国民の健康寿命を延ばすことに繋がるのだ。しかし、義歯関連の報酬改善を求めると必ず補綴の保険外し、自費範囲の拡大が持ち出される。「予算ありき」から「保険でよい歯科」運動をさらに大きく発展させ、世論を盛り上げていくしかない。

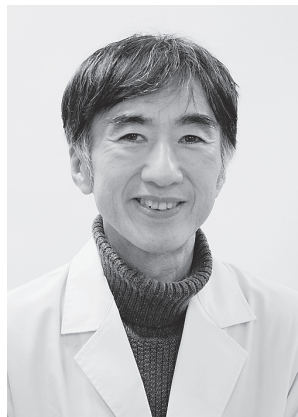
患者のためにベストをつくしていれば生活がきちんと成り立つ報酬を切りに求める。

## 実態に即した点数を求める

患者に着目した口腔機能管理の項目を新設している。

この要をなすが、歯科疾患管理料である。この医学管理料に様々な管理加算を新設することによって、算定しなければ治療の選択が狭まる仕組みをつくり、その担い手として、か強診の評価を強引に引き上げてきた。

今、か強診の施設基準では、高齢化社会における重症化予防に関する継続的な管理実績と地域連携に関する会議への参加実績を要件に追加し、届出に必要となる研修内容の見直しも求めている。これらは多くの開業医の実態とはかけ離れた内容



江原豊氏 (堺市)

今、か強診の施設基準では、高齢化社会における重症化予防に関する継続的な管理実績と地域連携に関する会議への参加実績を要件に追加し、届出に必要となる研修内容の見直しも求めている。これらは多くの開業医の実態とはかけ離れた内容

さて税金の使い道である。借金と金利の支払い、膨らみ続ける国防費、高齢化貧困化で増える医療福祉費。後期高齢者の私までが、今年もまだ元気で所得税を納付する。

中医協答申

## 不採算な継続管理を強要

吉田社保研究部長が談話



患者に着目した口腔機能管理の項目を新設している。

このような路線は、基礎的技術などコストの十分な保障をしないまま、出かける歯科医療を強要するものであり、院内感染予防対策が初再診料に含まれることに改変され、届出しなければ減算の扱いになる仕組みにも象徴的に表れている。

私見だが中央集権とは誰からでも税金を取る体制とも言える。個人や法人の金儲けが国の財力を富まし、外敵に備えた。その帝国主義は武器の形を変えて今も続いている。

### 「か強診」「歯援診」に係る施設基準研修会のご案内

3月18日(日)午後3時～6時  
保険医会館 (M&Dホール)

講師：足立了平氏 (神戸常盤大学教授)  
会費：5千円 定員：150人  
内容：①感染症対策等の院内感染防止対策  
②偶発症に対する緊急時の対応、医療事故及び感染症対策等の医療安全対策  
③高齢者の心身の特性 (認知症対応を含む)、口腔機能の管理及び緊急時対応等  
申込：協会事務局 06-6568-7731

### 歯界

私たちは日本 本の上で最も税金の高い時代に暮らしている。江戸時代では干上がった幕府も藩も食からも税金を取るといふ凄腕の政治家はいなかった。今は消費税がある。当時は大商人に頭を下げて、せいぜい上納金みたいな金をもらう程度で、税制がいかに甘かったから「脱税や逮捕」と強面もできなかった。まして税米を生産しない町の消費者から取りよつがなかった。頭のいい幕府の老中が実入りのいい税収を法制化しても、各藩にまで及ばず楽市楽座の地方が経済競争で有利になるだけだった。

3～6面に確定申告特集「青色申告決算書付表」の記載方法、「個人所得稅の主な改正事項」など

### 求人情報の更新

協会ホームページの求人情報を2月15日に更新しました。  
URL  
http://osk-net.org/job/